

地域包括支援センターです！

こんなことで困っていませんか？

高齢者の権利擁護について

- ・物忘れをするようになりお金の管理が心配。
- ・高価なものを買わされてしまったけれど…これってもしかして悪徳商法？
- ・お隣さん、もしかして虐待かも…どこに相談すればいいのだろう？

高齢者の暮らしや健康について

- ・近所の方が元気がないみたいで心配…。
- ・一人暮らしが大変になってきたけれど、相談に乗ってもらえるところはないかな？
- ・健康について気軽に話を聞いてもらえるところはないのかな？
- ・認知症のことで、相談したい。



介護保険サービスや介護予防について

- ・介護保険サービスを利用したいけれど、どうしたらいいのだろう？
- ・「要支援」と認定されたけれど、どんなサービスが利用できるのだろうか？
- ・足腰が弱くなってきたので、運動できる場所が知りたい！

地域包括支援センターにご相談ください！

専門職が連携して対応します

- ①総合相談支援
- ②虐待の早期発見・防止などの権利擁護
- ③継続的・包括的ケアマネジメント支援(ケアマネジャーの後方支援)
- ④介護予防マネジメント

地域包括支援センターでは、社会福祉士・保健師・ケアマネジャーなどの専門職が中心となって、困りごとの解決や適切なサービスの利用などのお手伝いをします。

窓口に来ることが困難な方でも、連絡を頂ければ担当者が伺い、相談を受け付けます。

窓口情報

地域包括支援センター
(名寄庁舎 2階)

☎01654③2111(内線3261)

受付 平日 8:45~17:30



講演会のお知らせ

※どちらの講演会も、無料で申し込みは不要です。

10/22(土)
14:00~15:30

介護予防・認知症講演会

北海道新聞のコラムや認知症に関する著書で有名な勤医協中央病院名誉院長 伊古田 俊夫先生にご講話いただきます。

この機会に、ぜひ認知症について学んでみませんか？



- ◆ところ 総合福祉センター
1階多目的ホール(西1南12)
- ◆テーマ 「認知症の早期発見と予防について」
- ◆講師 伊古田 俊夫氏 (公益社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院 名誉院長)

※開場は13:30です。

11/19(土)
13:30~15:30

権利擁護講演会

認知症等により判断力が低下した場合、自分や家族を守るためにどのような方策が考えられるのか。小林 和久先生からご講話をいただきます。

また、有志による寸劇により事例を交えて解説も行います。



- ◆ところ 総合福祉センター
1階多目的ホール(西1南12)
- ◆テーマ 「認知症になった時に
～自分や大切な家族を守るための方法～」
- ◆講師 小林 和久氏
(名寄ひまわり基金法律事務所所長・弁護士)

※開場は13:00です。



▲相談受付の様子



▲認知症サポーター養成講座の様子

地域の関係機関で「ネットワーク」をつくって支えます

高齢者一人ひとりの心身、健康状態、生活環境の変化などにおけるさまざまな困りごとを解決するためには、関係機関が連携することが大切です。

地域包括支援センターで地域のネットワークづくりを行い、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、高齢者の生活を支えていきます。

